

報道関係者各位
プレスリリース

2026年8月18日
株式会社タカミヤ

タカミヤ、パートナー企業の機材保管拠点を活用し、
機材の整備・供給拠点を拡充する「Platform Partner」の展開を開始
～第1号パートナーとして那覇鋼材が参画、沖縄県全域での供給体制を強化～

足場をはじめとする建設業界のプラットフォームとして、業界課題に革新的なソリューションを創造しつづける株式会社タカミヤ（以下タカミヤ、大阪本社：大阪市北区、東京本社：東京都中央区、代表取締役会長兼社長：高宮一雅）は、2026年8月より、地域企業の機材保管拠点を活用し、タカミヤの品質管理・機材供給網をつなぐ新たなパートナー制度「Platform Partner（プラットフォームパートナー）」の展開を開始しました。

本制度は、全国の機材Base（仮設機材の保管・整備・入出庫などを担うサービス提供拠点）ネットワークの拡大を進めるにあたり、パートナー企業が持つ機材保管拠点や地域ネットワークと、タカミヤの品質管理、機材供給、DXの仕組みを組み合わせます。さらに、足場運用マネジメントサービス「OPE-MANE（オペマネ）」を基盤に、パートナー企業と品質管理・運営ノウハウを共有し、仮設機材を迅速かつ安定的に提供します。これにより、タカミヤの品質基準に基づく管理体制を各地域へ広げるとともに、仮設機材の管理・整備業務の効率化を図り、建設現場の安全性・生産性向上を支援します。

また、第1号パートナーとして、沖縄県的那覇鋼材株式会社（本社：沖縄県豊見城市、代表取締役社長：上原勉 以下 那覇鋼材）が参画し、沖縄県全域における仮設機材の供給体制を強化します。

タカミヤ、機材整備・供給拠点を拡充する 「Platform Partner」の展開を開始

- 第1号として**那覇鋼材**が参画、**県全域での供給体制を強化**
- 「OPE-MANE」を基盤に、**各地域の建設企業と体制を構築**
- 今後5年間で**全国50拠点体制の構築**を目指す

■ サービス提供の背景：仮設機材の品質管理と人手不足という業界課題に対応

建設業界では人手不足が深刻化しており、仮設機材の分野においても、機材の保管・整備などを担う人材の確保や、高水準の品質管理を維持することが課題となっています。

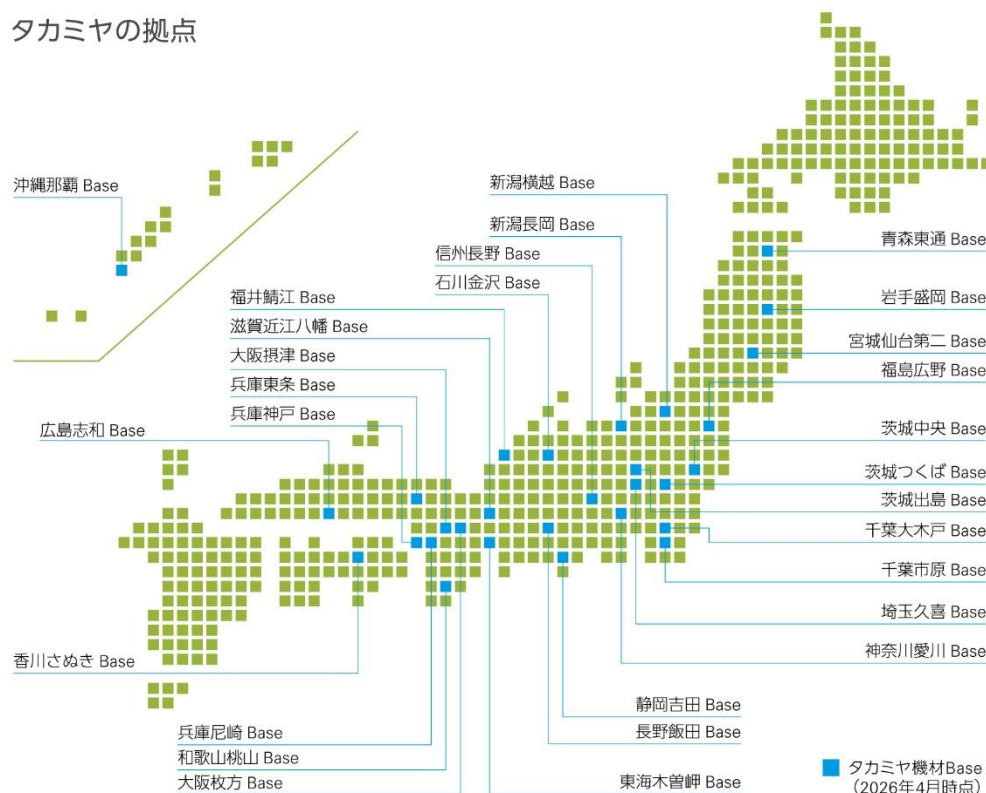
こうした構造的な課題は、一社だけで解決できるものではありません。社会インフラを将来にわたって支え続けるためには、各地域で高品質な仮設機材を迅速かつ安定的に供給できる体制の構築が欠かせません。

タカミヤはこれまで、仮設機材の保管・整備・入出庫などを担う「機材Base」を全国29箇所に展開するとともに（※1）、足場運用マネジメントサービス「OPE-MANE」を通じて、機材の管理や整備を代行してきました。

今回開始する「Platform Partner」は、地域企業が持つ機材保管拠点や地域ネットワークと、タカミヤが培ってきた品質管理、機材供給、DXの仕組みを組み合わせるパートナー制度です。地域企業と互いの強みを持ち寄り、共通の品質基準に基づく持続可能な供給体制を構築することで、高品質な仮設機材を安定的に提供するとともに、管理・整備業務にかかる人的負担を軽減します。これにより、人手不足が深刻化する建設業界において、安全で効率的な現場運営を支援します。※1 2026年8月現在

OPE-MANEについての詳細はこちら：<https://pg.takamiya.co/ope-mane.html>

タカミヤの拠点



■ 品質管理ノウハウを共有し、地域の建設企業とともに供給体制を構築する「Platform Partner」

「Platform Partner」は、パートナー企業が保有する機材保管拠点を活用し、タカミヤの品質基準に基づいた仮設機材の管理・整備・出荷体制を構築する仕組みです。

本サービスは、足場運用マネジメントサービス「OPE-MANE」を基盤とし、タカミヤの品質管理ノウハウを提供することで、業務効率化と安定した品質の両立を図ります。

これにより、パートナー企業の既存拠点や人材を生かしながら、タカミヤの基準を満たした仮設機材を迅速かつ安定的に提供できる体制を構築します。

「OPE-MANE」の仕組み



■ 事業形態に応じて選べる2種類のサービスモデル

「Platform Partner」では、パートナー企業の機材保管拠点や整備体制に応じて、「OPE-MANE Base型」と「ストックSite型」の2つのサービスモデルを提供します。

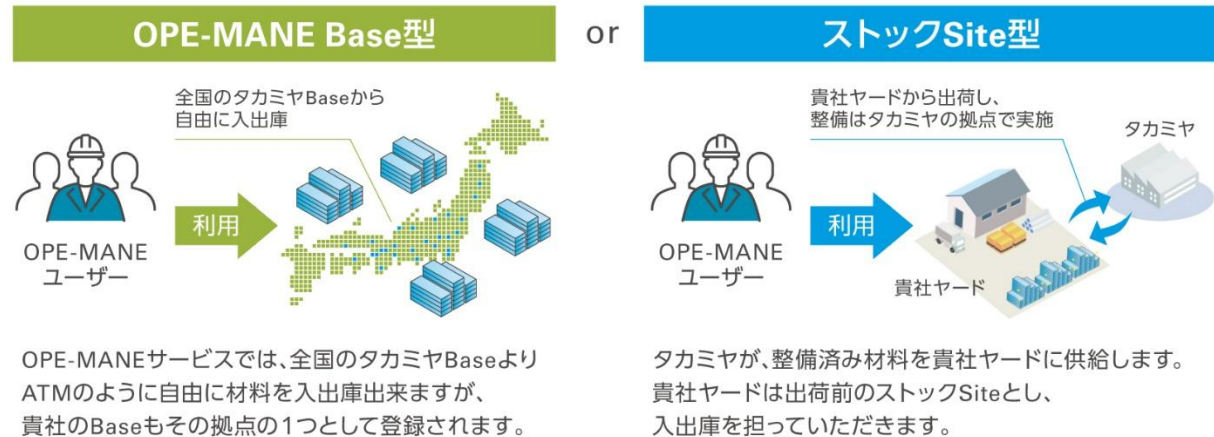
1. 「OPE-MANE Base型」

パートナー企業の機材保管拠点を「OPE-MANE」の入出庫拠点として登録し、全国のOPE-MANEユーザーが利用できるようにするモデルです。パートナー企業は、タカミヤの「機材整備マニュアル」に基づき、機材の整備や入出庫、在庫管理を自社で担います。また、機材の整備業務をすべてタカミヤに委託することも可能です。

2. 「ストックSite型」

タカミヤが整備した機材をパートナー企業の機材保管拠点に供給し、出荷前の保管拠点として活用するモデルです。パートナー企業は機材の入出庫と在庫管理を担い、使用後の機材はタカミヤが回収し、タカミヤのBaseで整備します。

2種類のサービスモデル



■「Platform Partner」の4つのメリット

「Platform Partner」への参画により、パートナー企業には、以下4つのメリットがあります。

1. 機材価値の向上

タカミヤ独自の品質管理システムに基づき機材を管理・整備することで、タカミヤが保有する機材と同等の品質基準を確保し、保有機材の価値向上につなげることができます。

2. 機材の安定供給

豊富な在庫を有するタカミヤの供給網を活用することで、繁忙期においても、必要な機材を安定的に確保できる体制を構築します。

3. 利用者の拡大による売上向上

パートナー企業の機材保管拠点を全国の「OPE-MANE」ユーザーが利用できるようにすることで、拠点の利用機会を拡大し、売上向上につなげます。

4. DXサービスによる生産性向上

タカミヤが開発するDX・AIのサービスを活用することで、拠点運営の効率化と生産性向上を支援します。

4つのメリット



■ 第1号パートナーとして那覇鋼材が参画、沖縄県全域での供給体制を強化

「Platform Partner」の第1号パートナーとして、沖縄県で建設機材の販売・レンタルなどを手掛ける那覇鋼材が参画しました。

今回の参画は、新たな機材Baseが増えたというだけではありません。タカミヤがこれまで構築してきた品質管理体制や機材供給網、DXの仕組みに地域企業が賛同し、それぞれの強みを生かしながら、持続可能な仮設機材の供給体制をともに構築していく新たな取り組みの第一歩となります。

本取り組みが最初に展開される沖縄県では、「ジャングリア沖縄」をはじめとする観光・リゾート施設やインフラ整備を背景に、北部・中部を含む各地域で建設需要が高まっています。一方、那覇鋼材では、南部の八重瀬機材センターを中心に仮設機材を保有してきましたが、鋼材や鉄筋など幅広い建設資材も取り扱っていることから、機材保管スペースの確保や供給体制のさらなる強化が課題となっていました。

今回の連携により、那覇鋼材が有する地域に根差した事業基盤や機材保管拠点と、タカミヤが培ってきた品質管理ノウハウや機材供給網、DXの仕組みを組み合わせることで、沖縄県全域における仮設機材の供給力を強化します。今後は、本島南部を起点に北部・中部、さらに宮古島を含む離島地域へとサービスを展開し、高品質な仮設機材を迅速かつ安定的に提供できる体制の構築を進めてまいります。

沖縄県における流動性シミュレーション



■ 今後の展望：今後5年間で全国50拠点体制の構築を目指す

タカミヤはこれまで、足場運用マネジメントサービス「OPE-MANE」をはじめ、建設業界が抱える課題の解決に向けたサービス基盤の構築に、先行投資を進めてきました。こうした取り組みは現在、「タカミヤプラットフォーム」として形になり、建設業界においても徐々に理解と共感が広がっています。

今回開始した「Platform Partner」は、タカミヤが単独で拡大するのではなく、全国各地のパートナー企業と連携し、機材供給網とともに構築する取り組みだと考えています。

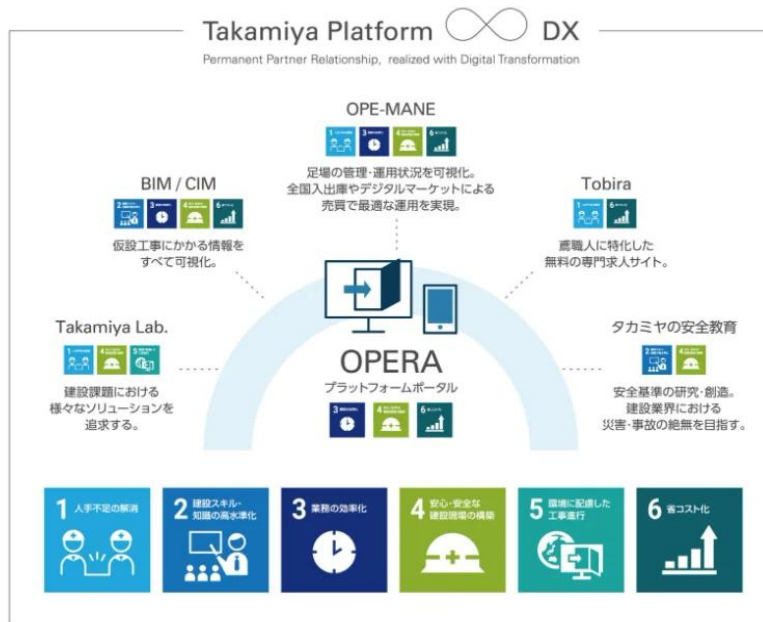
今後5年間で、現在展開する全国29拠点の機材Baseと、2027年春に開設予定の2拠点に加え、新たに19拠点を展開し、全国50拠点体制の実現を目指します。ただし、全国50拠点体制は最終的なゴールではなく、地域企業とともに全国の機材供給網を広げていくための一つの通過点です。

今後も地域企業とのパートナーシップを拡大し、全国各地で高品質な仮設機材を迅速かつ安定的に提供できる供給網を構築することで、建設業界の持続的な発展に貢献してまいります。

■ 「Platform Partner」は「タカミヤプラットフォーム」の一環

タカミヤは建設業の深刻な人手不足・コスト高などの問題に対応するため、建設ソリューション群「タカミヤプラットフォーム」を提供しています。足場等の仮設機材の調達・運用マーケットプレイス提供やデジタル設計支援等のデジタル化にはじまり、専職人に特化した無料の求人サイトまで、多岐にわたるソリューションを統合しています。

「Platform Partner」もその一環として、建設業界の安全性・生産性向上などに貢献します。



社名 : 株式会社タカミヤ

代表 : 高宮 一雅

本社所在地 : 大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 タワーB 27階
: 東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング12階

URL : <https://corp.takamiya.co/>

設立 : 1969年6月21日

資本金 : 10億 5,214万円

従業員数 : 752名 (連結従業員数 1,351名)

事業内容 : 仮設機材の開発、製造、販売及びレンタル、仮設工事の計画、設計、施工ならび建設現場の課題解決に向けたプラットフォームサービスの提供

【本件に関する問い合わせ先】

タカミヤ広報事務局 : シェイプウィン株式会社 (担当 : 齊木、江原、勝山)

03-6427-2298 press-takamiya@shapewin.co.jp